エコウッド

ecowood 組み立て説明書

耐久性抜群の人工木デッキ

木質感

高耐久性

メンテフリー

環境に優しい

腐食に強いウッドデッキ部材！

人工木デッキ下地

ウッド
デッキ

■人工木デッキのメイン下地となる大引き材です。

■サイズ：(長さ)　(幅)　(高さ)
2700mm × 74mm × 90mm
1800mm × 74mm × 90mm

アルミ材 デッキ大引き

サイズ(L)	カラー
2700mm	ブラック
1800mm	ブラック

■大引きを連結するためのジョイント材です。

※ビスが付属しています。

アルミ大引き連結ジョイント

サイズ(L)	カラー
200mm	ブラック

■人工木デッキの足となる調整用の束柱です。

■サイズ：（最大長さ）460mm
（最小長さ）260mm

※ビス、Ｌ型金具等、一式が付属しています。

アルミ材 調整束柱

サイズ(L)	カラー
260mm～460mm	ブラック

腐食に強いウッドデッキ部材！

人工木デッキ下地

ウッド
デッキ

■人工木デッキ幕板を固定するための下地金具です。

■素材：アルミ製

※ビスが付属しています。

幕板下地固定金具

カラー
ブラック

■デッキ床板を固定するための金具です。

■セット内容：固定パーツ×10個　ビス×10本

■素材：樹脂／ステンレス

※床板固定金具を使用してデッキを設置していく場合、
床材同士の隙間は約５ミリ生じます。

床板固定金具（１０個入り）

カラー
ブラック

■幕板を設置する際に、角部の納まりに使用するための
エンドキャップです。

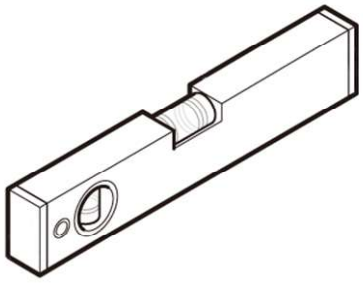
■素材：樹脂製

※ビスが付属しています。

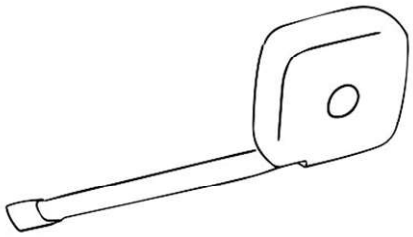
幕板コーナーキャップ

カラー
BR　BE　DB

【 デッキ組み立てに必要な道具 】



● 水平器



● メジャー

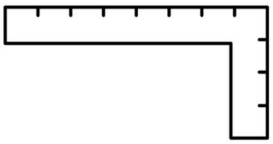
● 電動ドライバー

● 目地幅5ミリに対応する細軸ビット

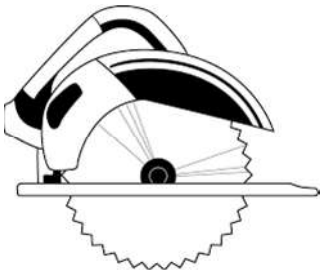
● 鉄鋼用下穴ドリル　（幕板設置用／下穴径･･･3. 8mm）

● コンクリート用下穴ドリル　（平板固定用／下穴経･･･3. 5mm）

● 軍手



● 差し金（直角道具）



（ 床板や幕板をカットする場合 ）

● 手ノコまたは電動ノコギリ

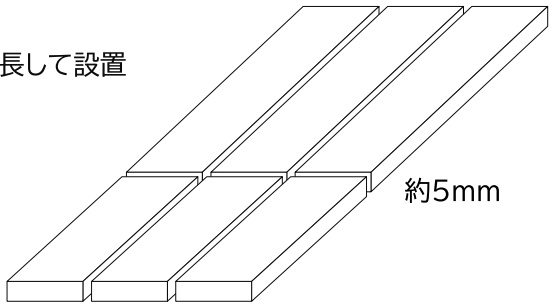
（ 大引きや束柱などアルミ材をカットする場合 ）

● 金属切断用のノコギリが必要です。

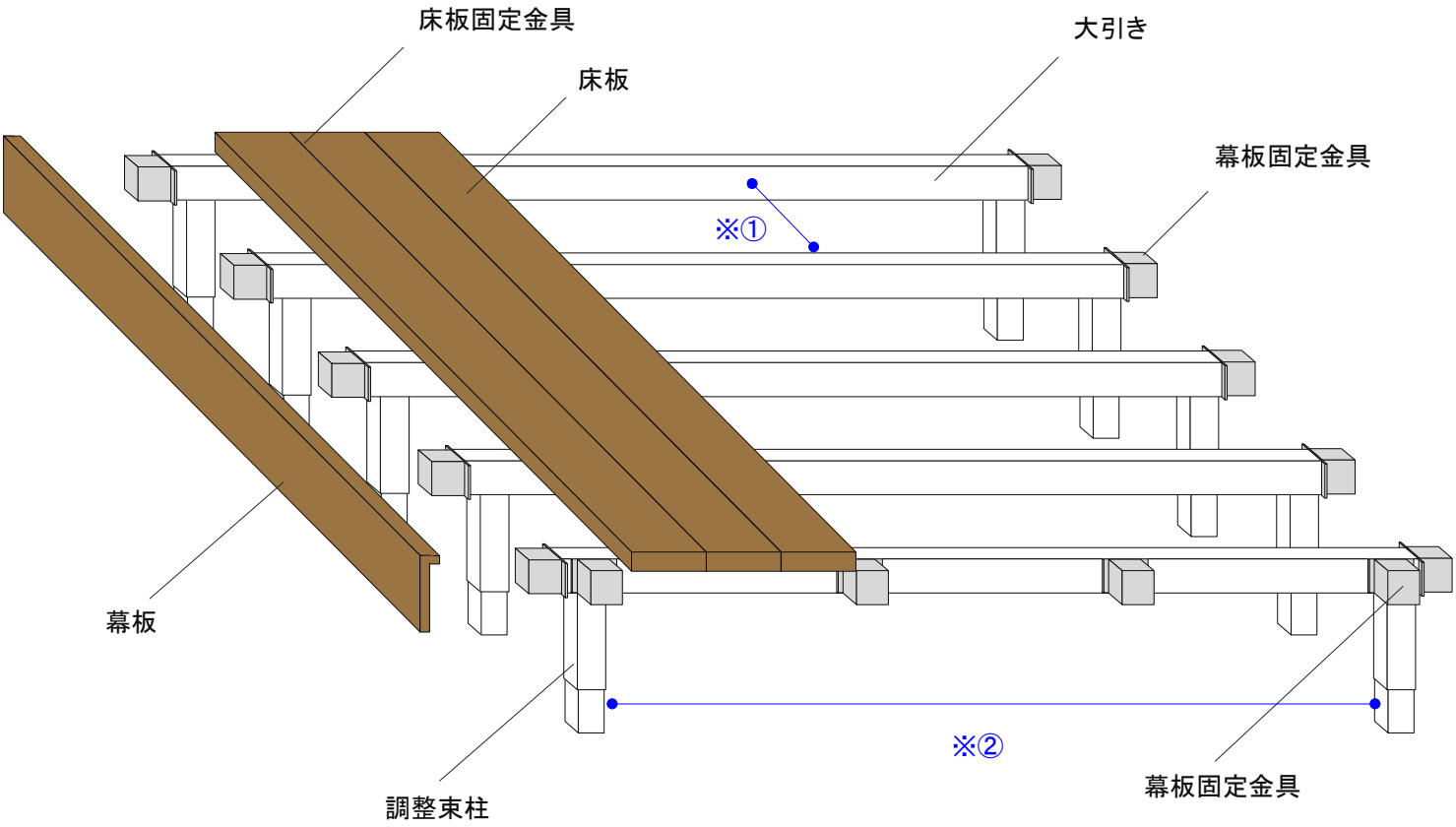
【 デッキ施工のポイント 】

● 人工木デッキ床板の固定には「床板固定金具」を使用しますが、床板と床板の間は約5mmの隙間が生じます。
電動ドライバーのビットもそれに合わせて、5mm以内の細軸ビットをご用意ください。

● オリジナルサイズでデッキを製作される場合などで、床板を縦方向に延長して設置していく際には、連結部は5mm程度隙間を空けて設置してください。

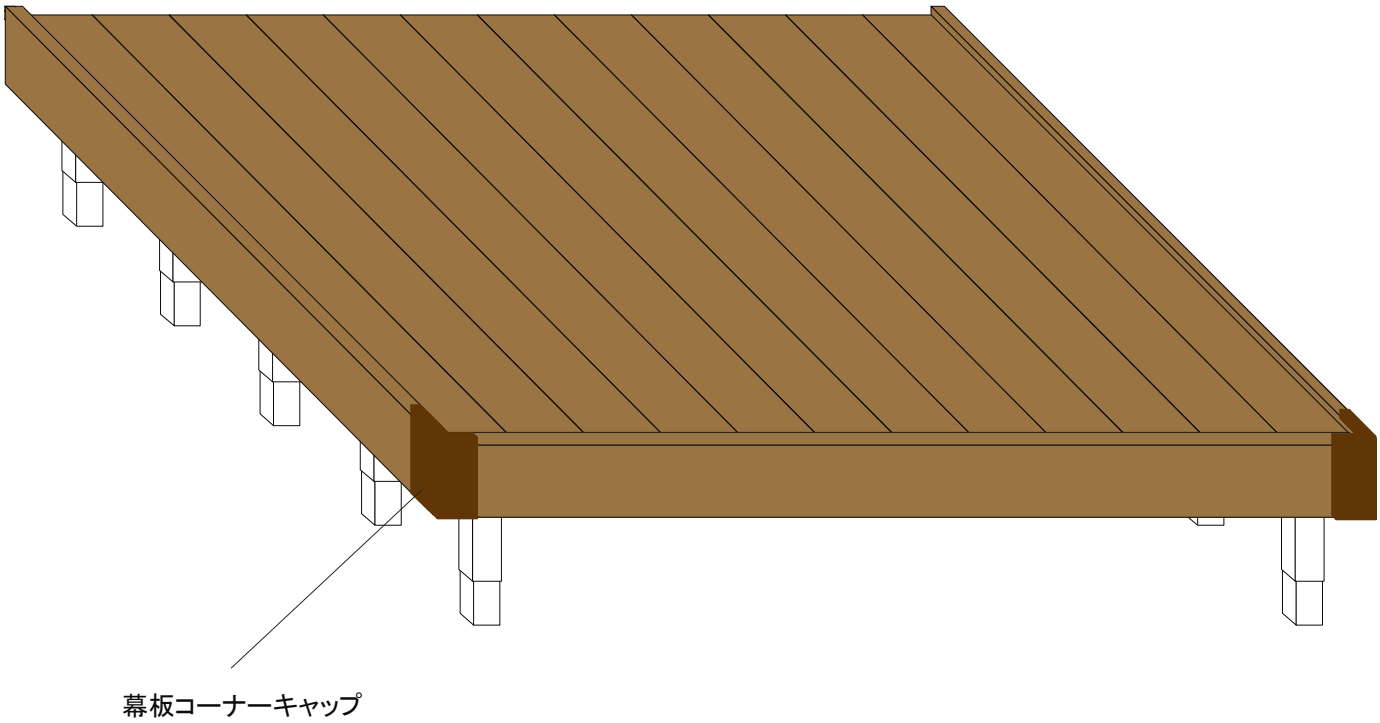


【人工木デッキ基本構造】



※① 大引き同士の間隔は、内々400mm以内としてください。

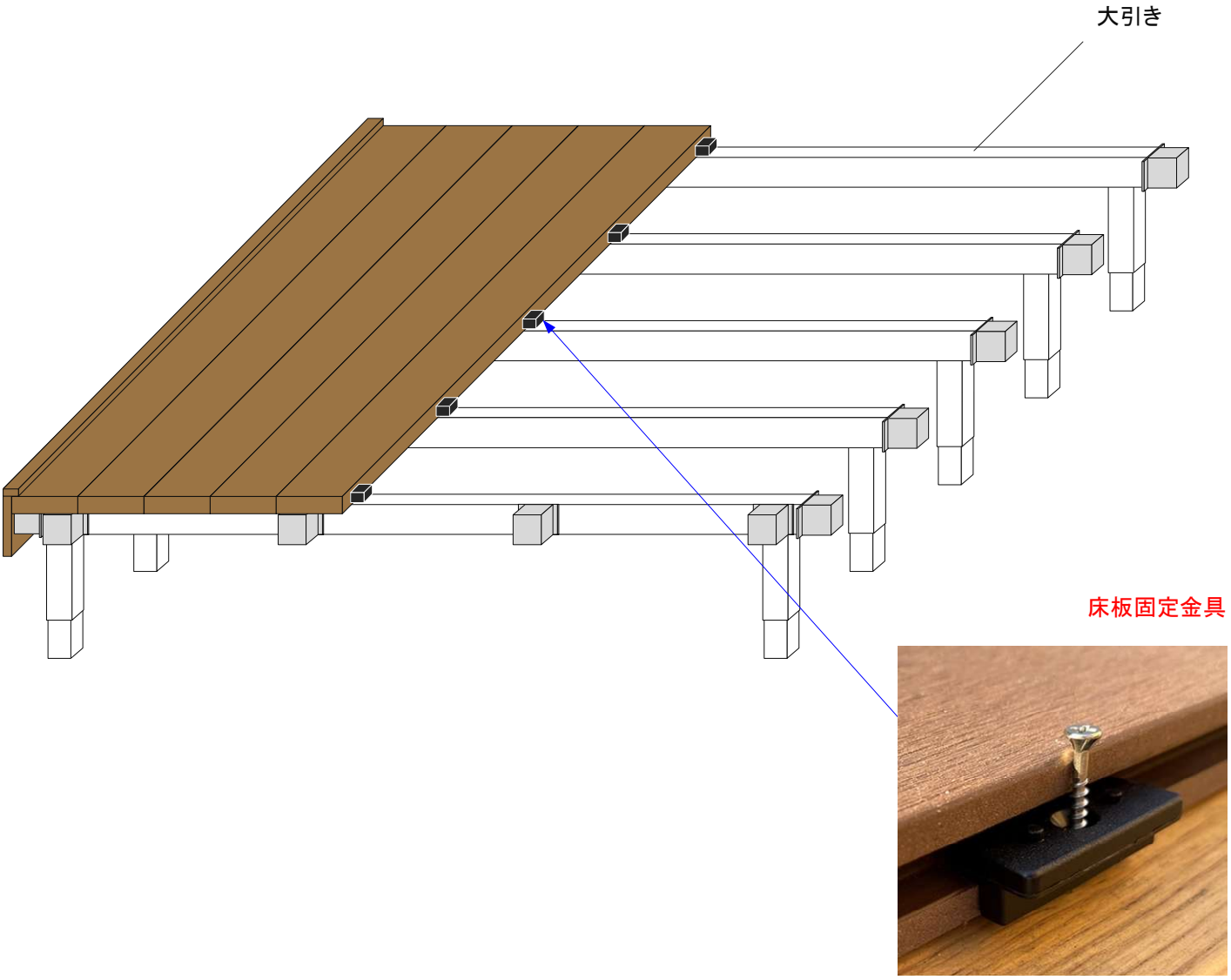
※② 調整束柱の間隔は最大で1600mm以内としてください。



【床板固定金具の使用数につきまして】

「床板固定金具」の必要数については、下地となる大引きの数によって変わりますが、一般的なデッキ構造として下記事例をご紹介いたします。

（ デッキ材は一枚1800mmですので、大引きは5本使用しています。）



上記図面では横に5本の大引きを設置しているため、一枚のデッキ材に対して「床板固定金具」は縦に5個使用しています。

デッキ材の連結部すべてに「デッキ固定金具」を使用しますので、まずは連結部が何ヶ所になるかを計算して必要な数量を拾い出します。

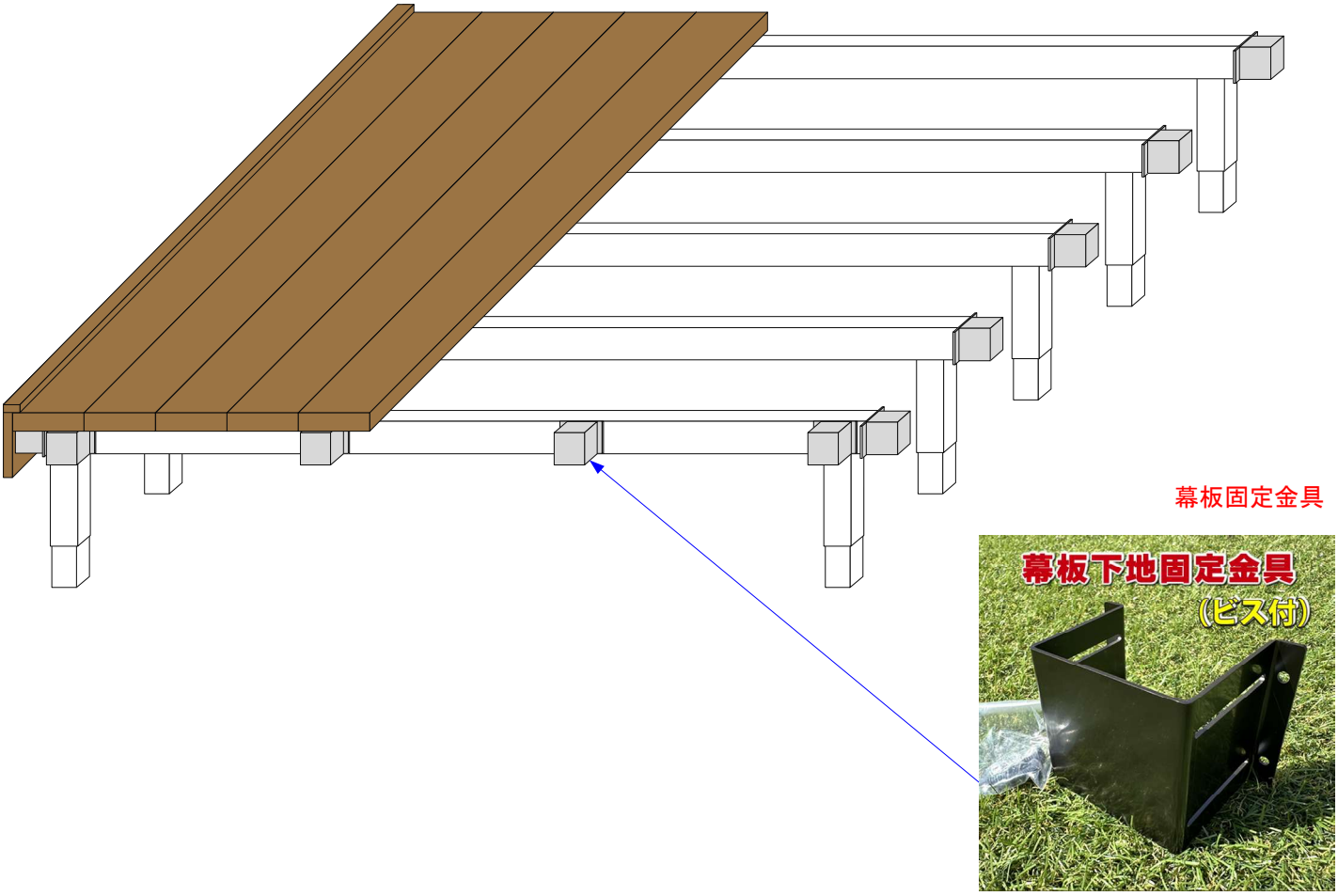
■ 計算例：（連結部が7箇所の場合） 連結部7×固定金具5＝35個必要となります。

なお、端部用の金具については、「人工木ウッドデッキ幕板材」を使用する場合は不要となります。

【幕板固定金具の使用数につきまして】

幕板を設置するための下地には「幕板固定金具」を使用します。（ドリルビスが4本付属しています。）

大引きの側面や正面など、幕板を設置する場所に固定していきます。
金具の必要数の目安は、幕板のピッチ約600mm程度に1箇所の金具があれば問題ありません。

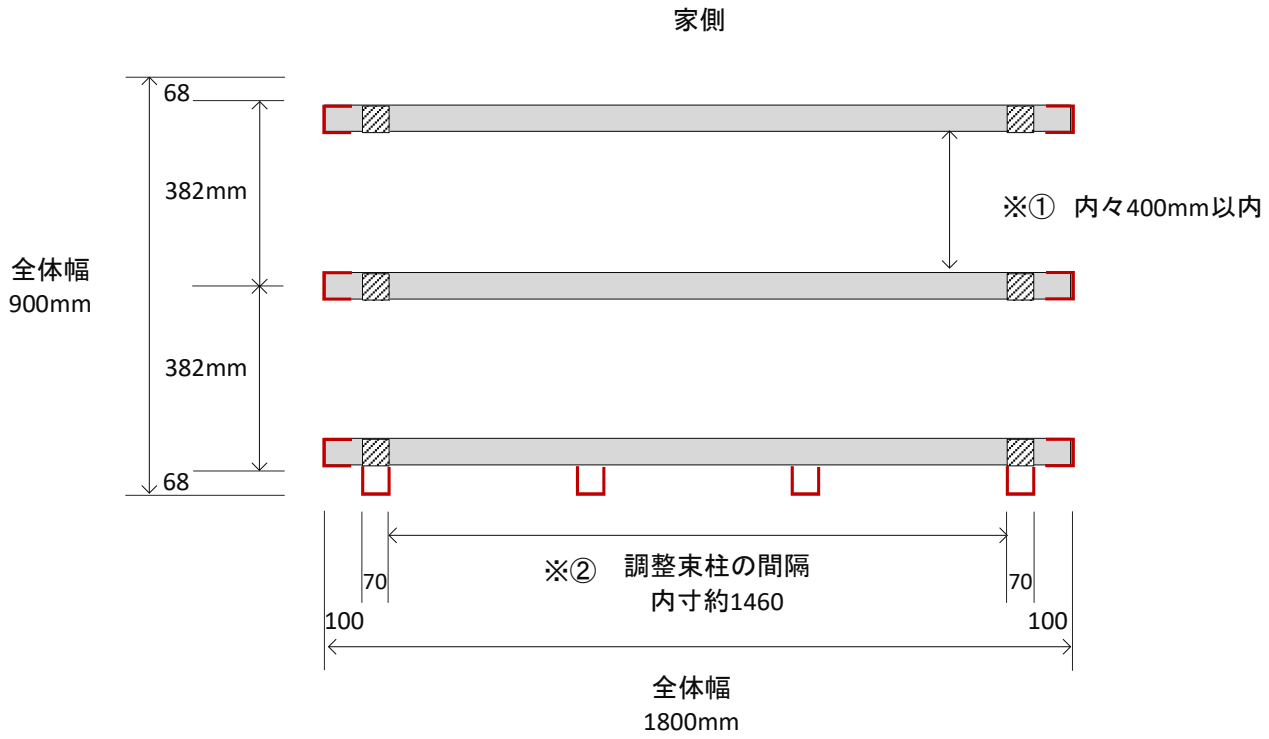


【 仕上り基本寸法例　W1800×900mm 】

※デッキの仕上りサイズは若干の誤差が生じます。

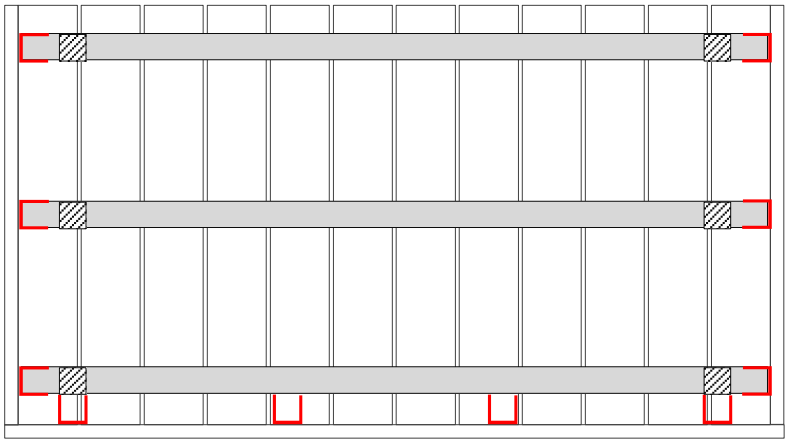
・・・幕板固定金具

・・・調整束柱



※①　大引き同士の間隔は図面上382mmとしていますが、設置環境に応じて、内々400mm以内であれば多少の位置調整は問題ありません。

※②　調整束柱の間隔は最大で1600mm以内であれば、多少の位置調整は問題ありません。

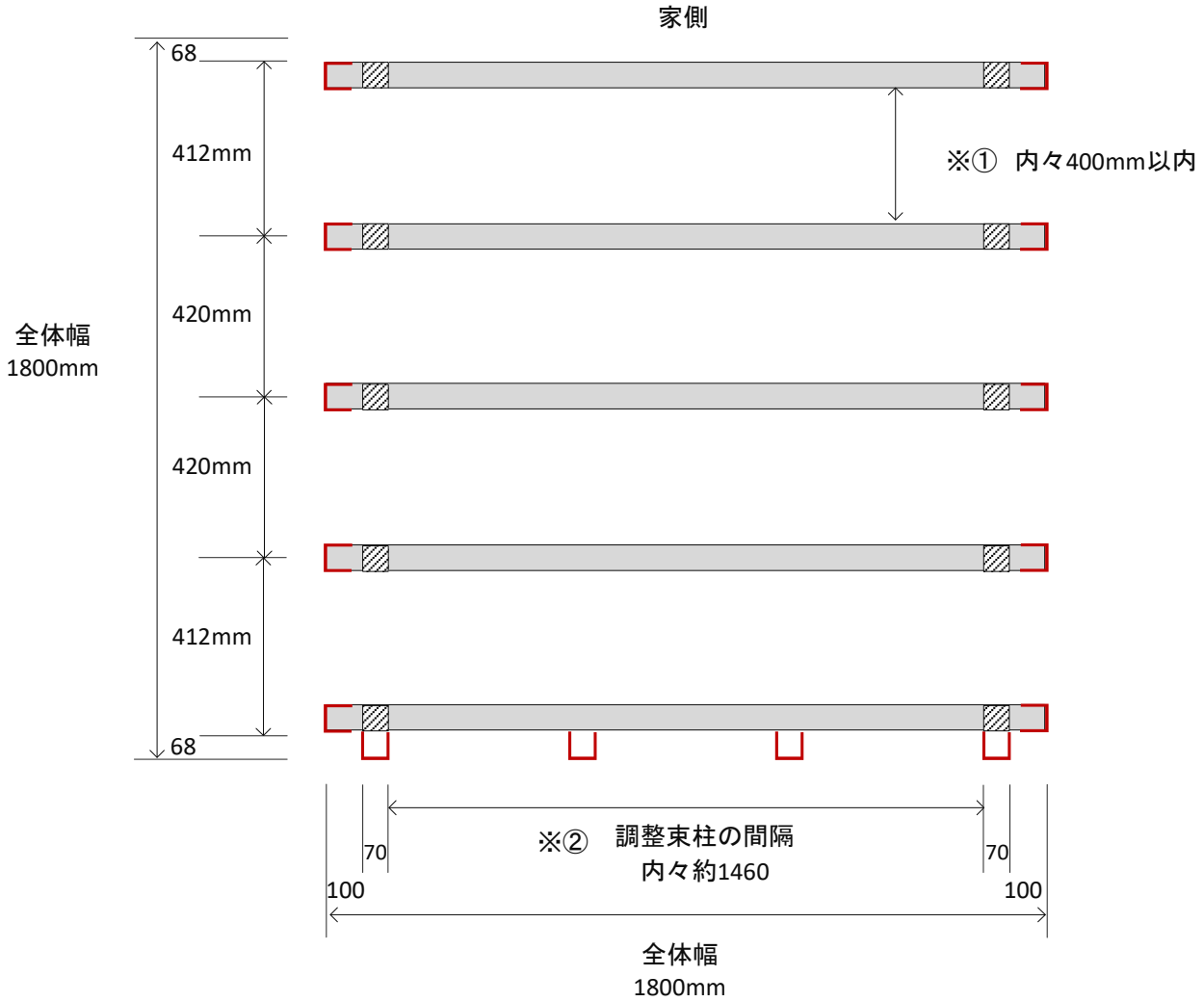


【 仕上り基本寸法例　W1800×1800mm 】

・・・幕板固定金具

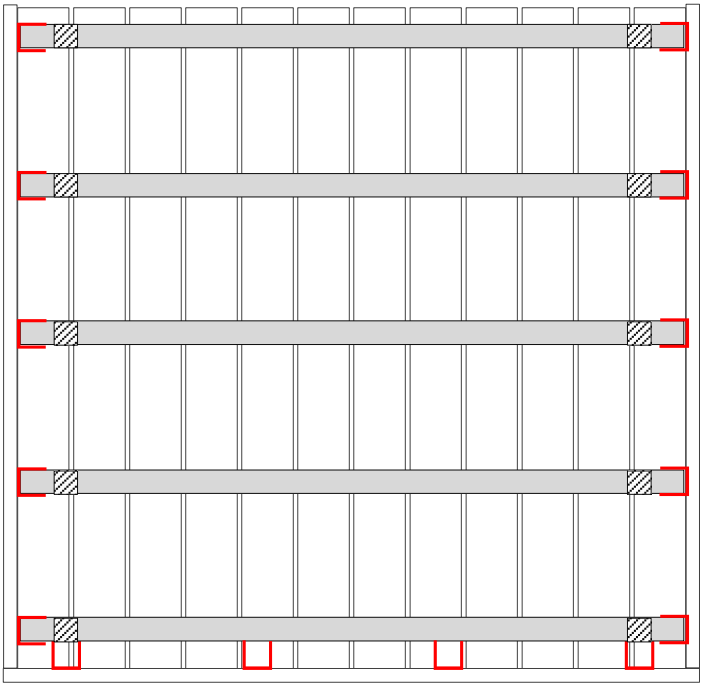
・・・調整束柱

※デッキの仕上りサイズは若干の誤差が生じます。



※①　大引き同士の間隔は図面上412mm／420mmとしていますが、設置環境に応じて、内々400mm以内であれば多少の位置調整は問題ありません。

※②　調整束柱の間隔は最大で1600mm以内であれば、多少の位置調整は問題ありません。

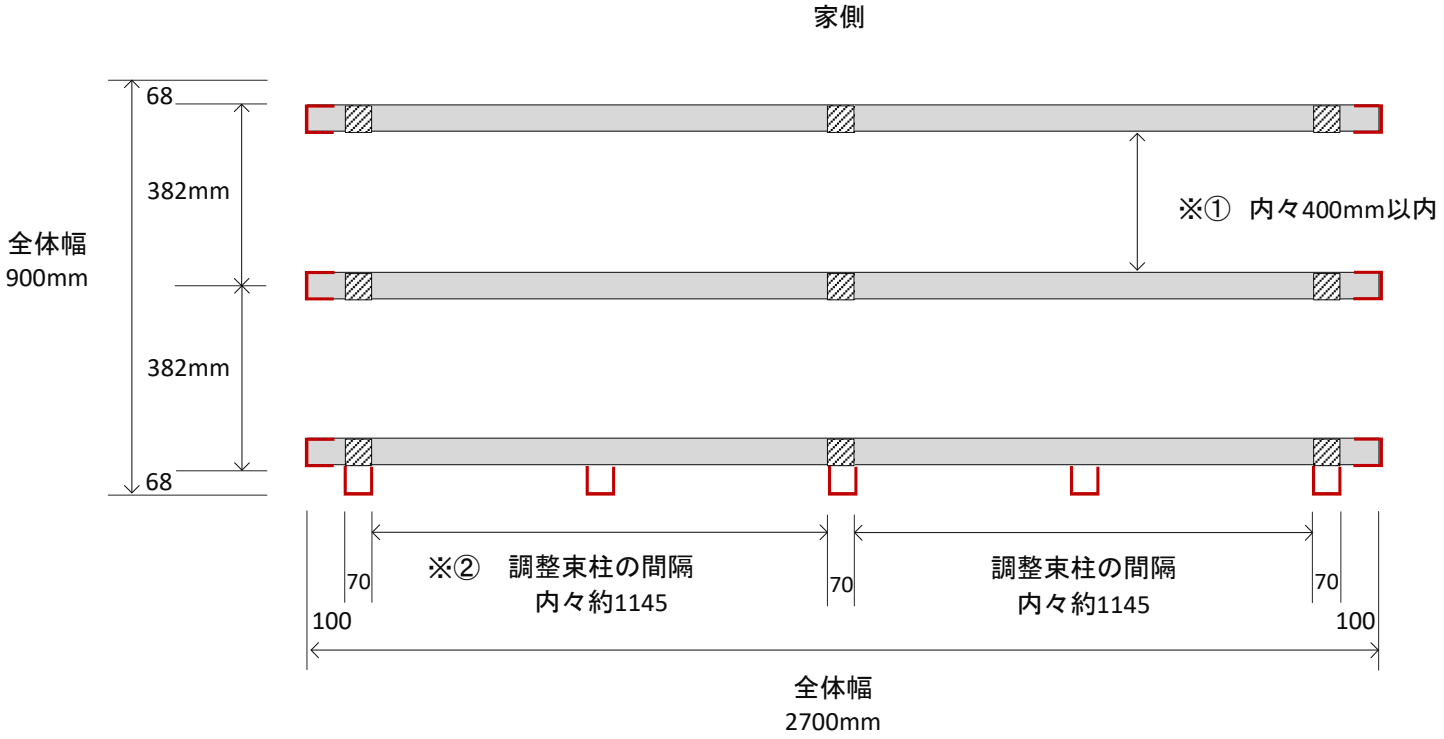


【 仕上り基本寸法例　W2700×900mm 】

※デッキの仕上りサイズは若干の誤差が生じます。

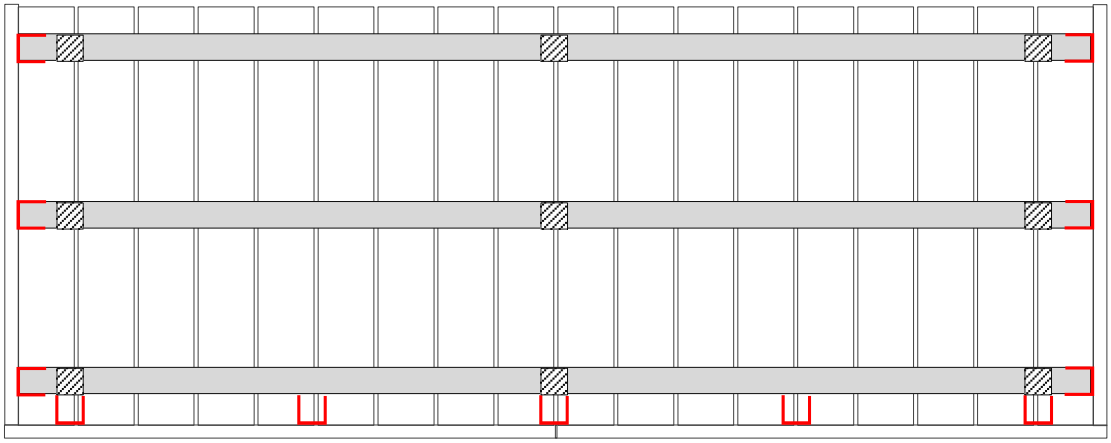
・・・幕板固定金具

・・・調整束柱



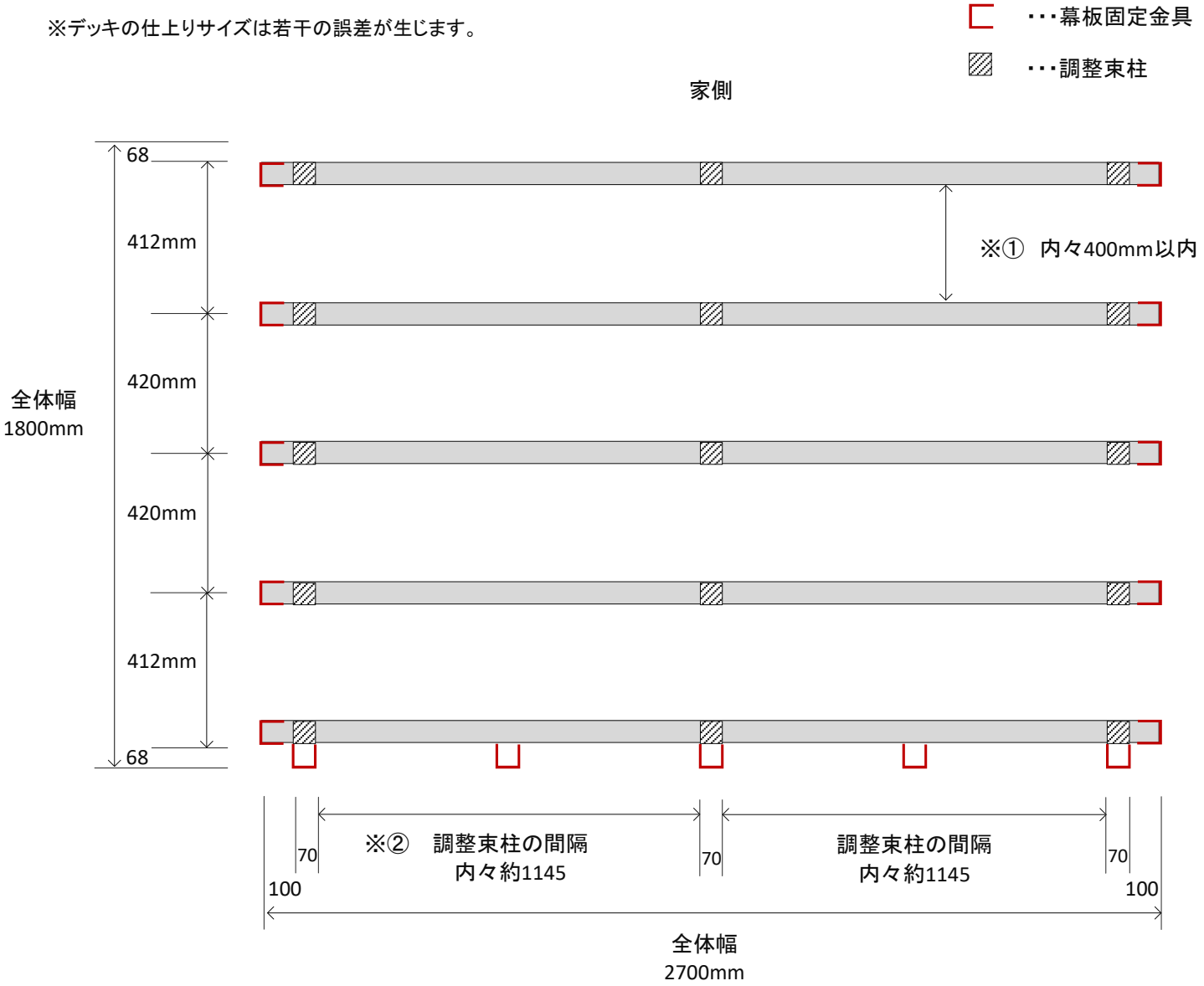
※①　大引き同士の間隔は図面上382mmとしていますが、設置環境に応じて、内々400mm以内であれば多少の位置調整は問題ありません。

※②　調整束柱の間隔は最大で1600mm以内であれば、多少の位置調整は問題ありません。



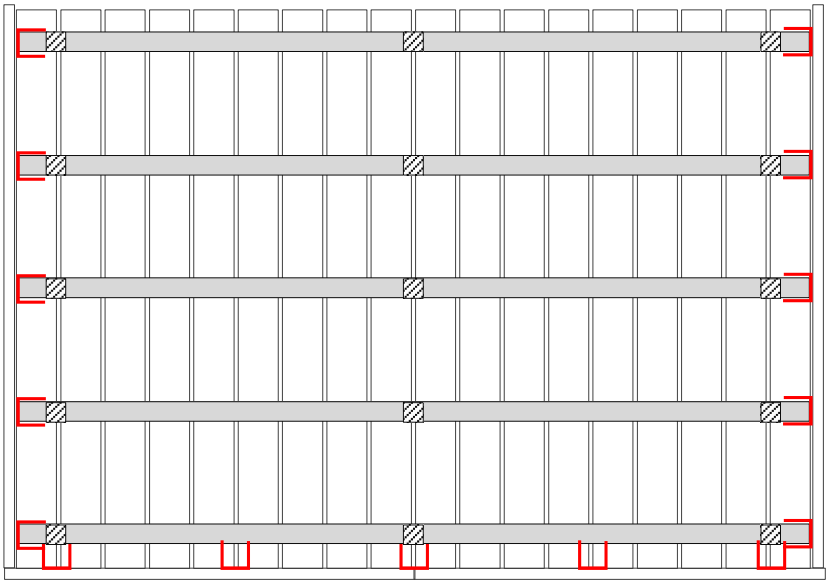
【 仕上り基本寸法例　W2700×1800mm 】

※デッキの仕上りサイズは若干の誤差が生じます。



※①　大引き同士の間隔は図面上412mm／420mmとしていますが、設置環境に応じて、内々400mm以内であれば多少の位置調整は問題ありません。

※②　調整束柱の間隔は最大で1600mm以内であれば、多少の位置調整は問題ありません。

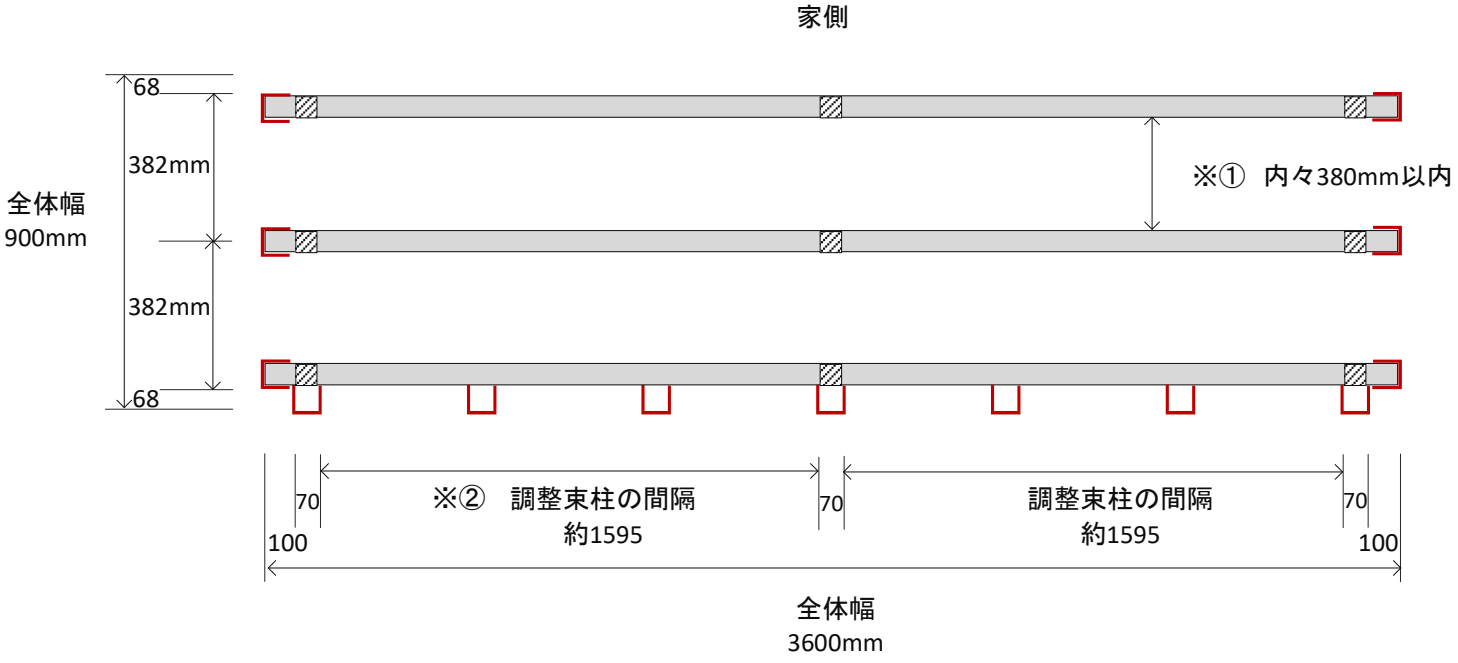


【 仕上り基本寸法例　W3600×900mm 】

※デッキの仕上りサイズは若干の誤差が生じます。

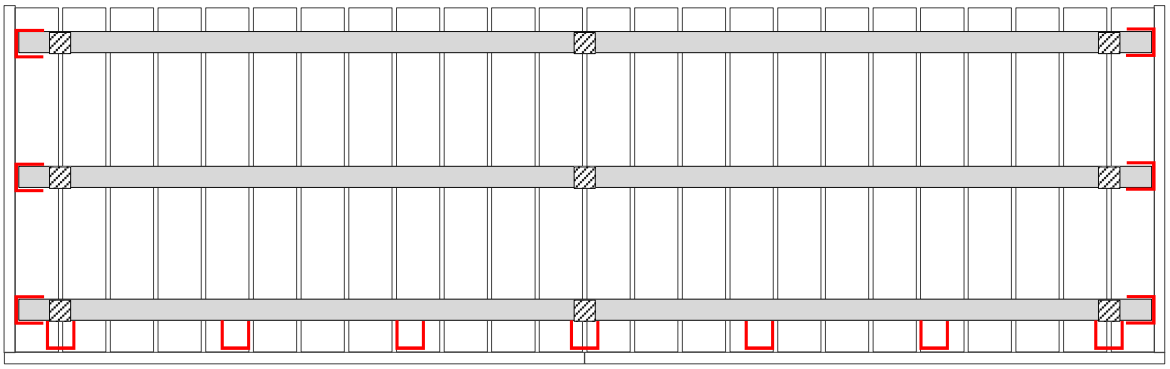
・・・幕板固定金具

・・・調整束柱



※①　大引き同士の間隔は図面上382mmとしていますが、設置環境に応じて、内々400mm以内であれば多少の位置調整は問題ありません。

※②　調整束柱の間隔は最大で1600mm以内であれば、多少の位置調整は問題ありません。

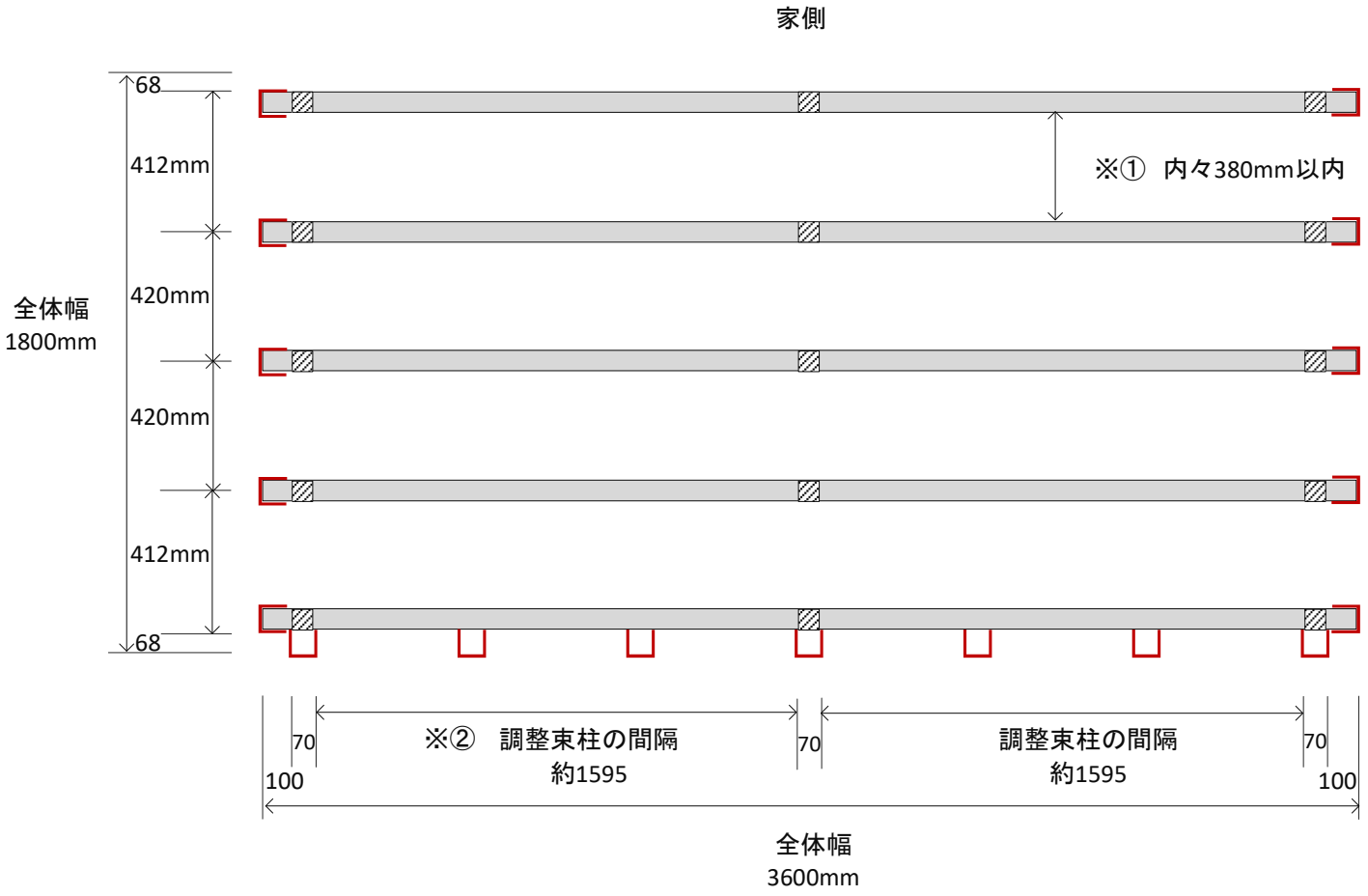


【 仕上り基本寸法例　W3600×1800mm 】

※デッキの仕上りサイズは若干の誤差が生じます。

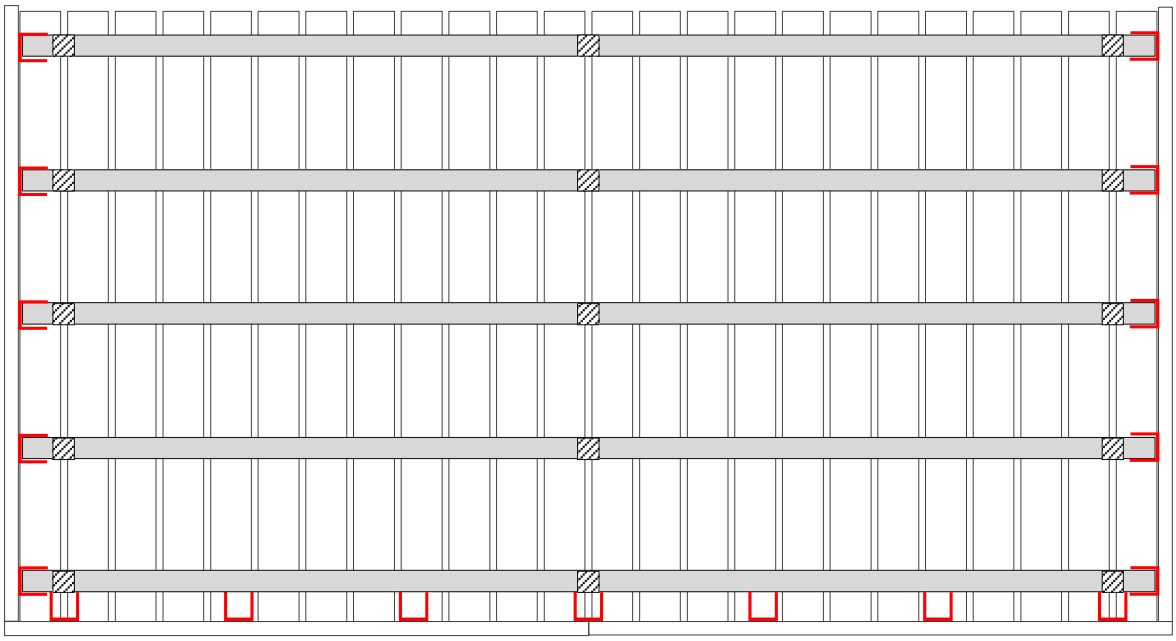
・・・幕板固定金具

・・・調整束柱

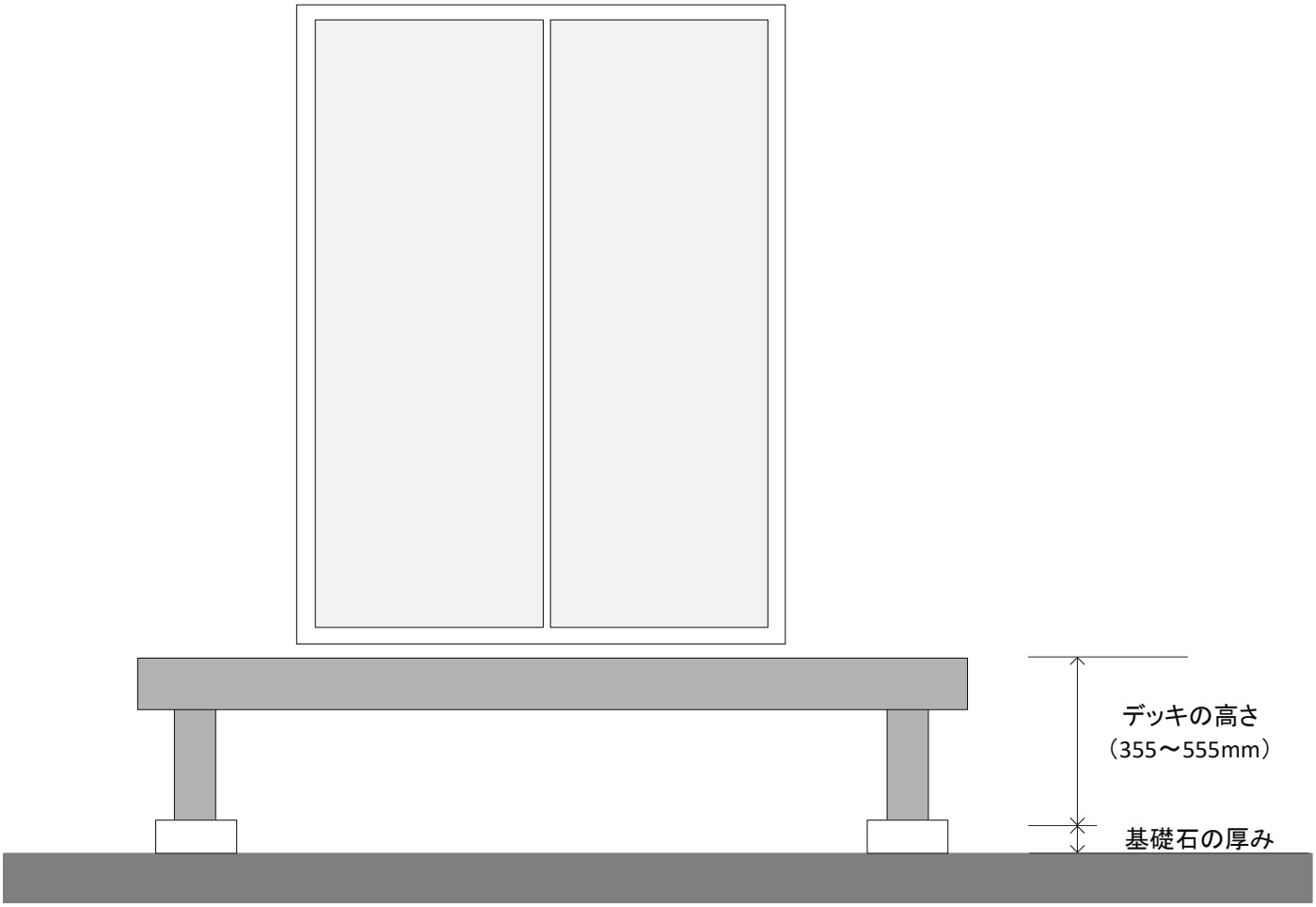


※①　大引き同士の間隔は図面上412mm／420mmとしていますが、設置環境に応じて、内々400mm以内であれば多少の位置調整は問題ありません。

※②　調整束柱の間隔は最大で1600mm以内であれば、多少の位置調整は問題ありません。

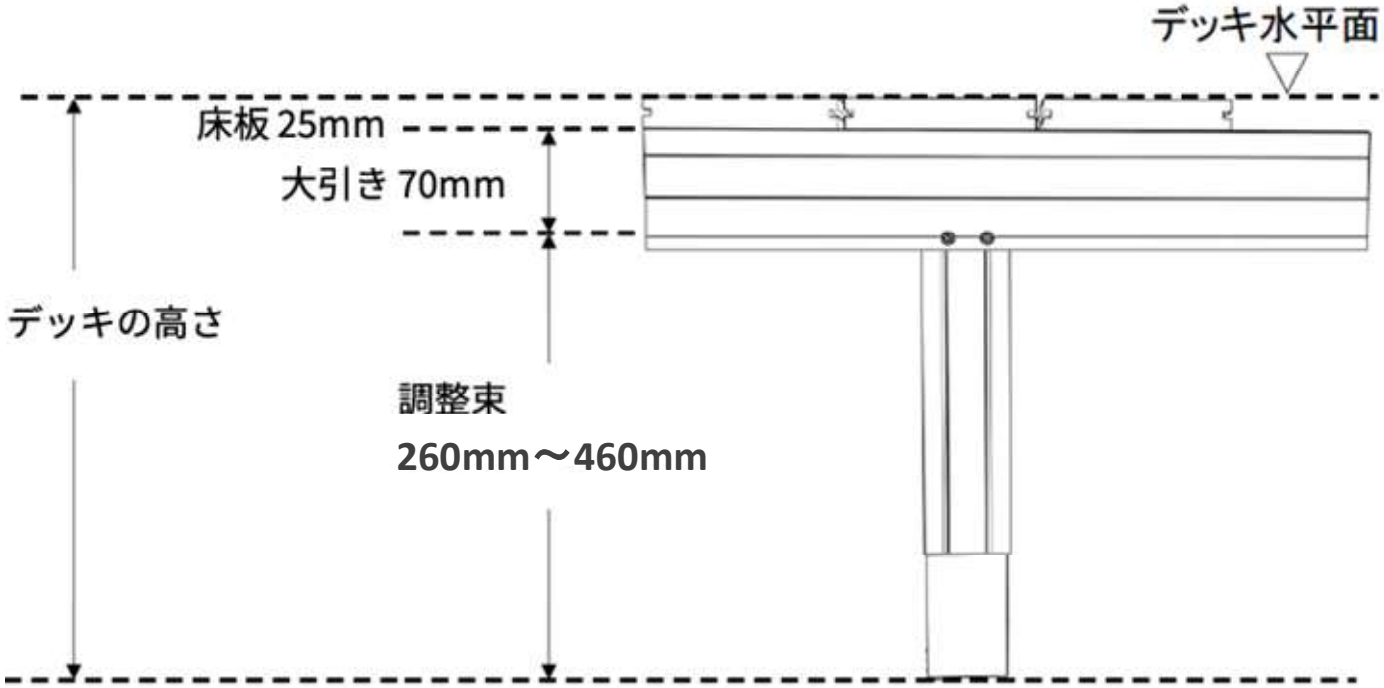


【 全体の高さの決定 （デッキ高さ＋基礎石の厚み）】

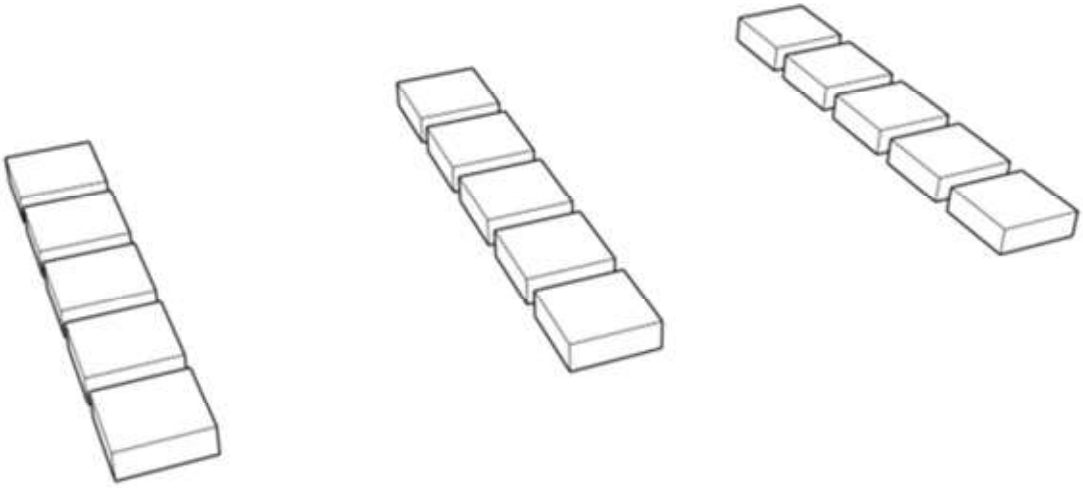


※デッキの高さ= 調整束（260mm～460mm）＋大引き（70mm）＋デッキ厚み（25mm）

※デッキの高さが355mm以下の場合は、調整束をカットして組み立てて下さい。

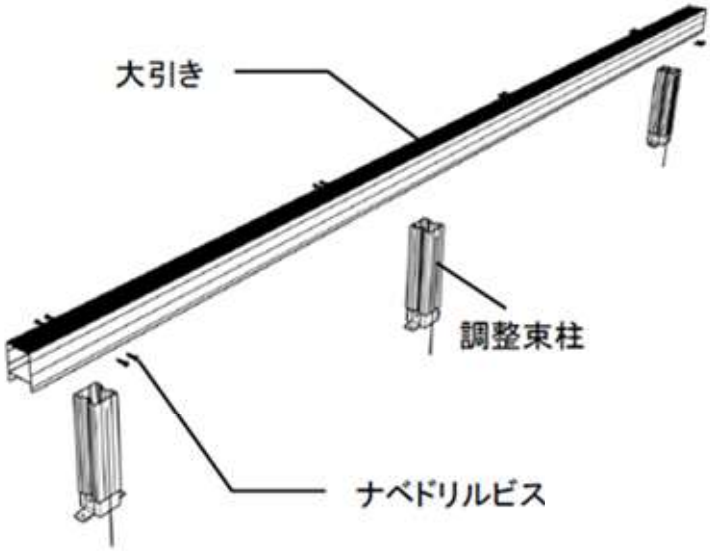


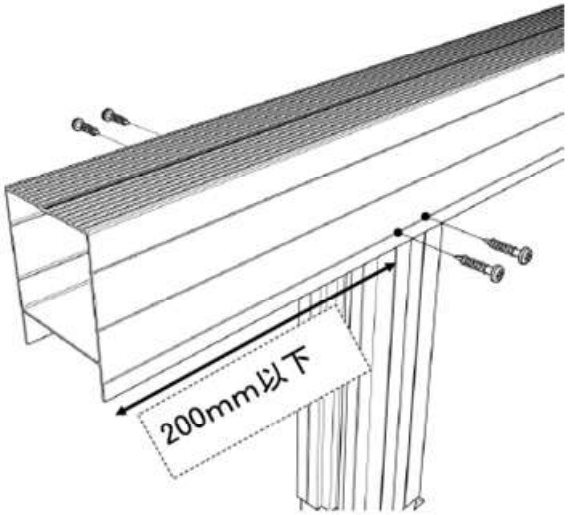
【 下地の施工 】



施工現場がコンクリートでない場合は、あらかじめ束石を設置してください。

【 束柱・大引きの施工 】





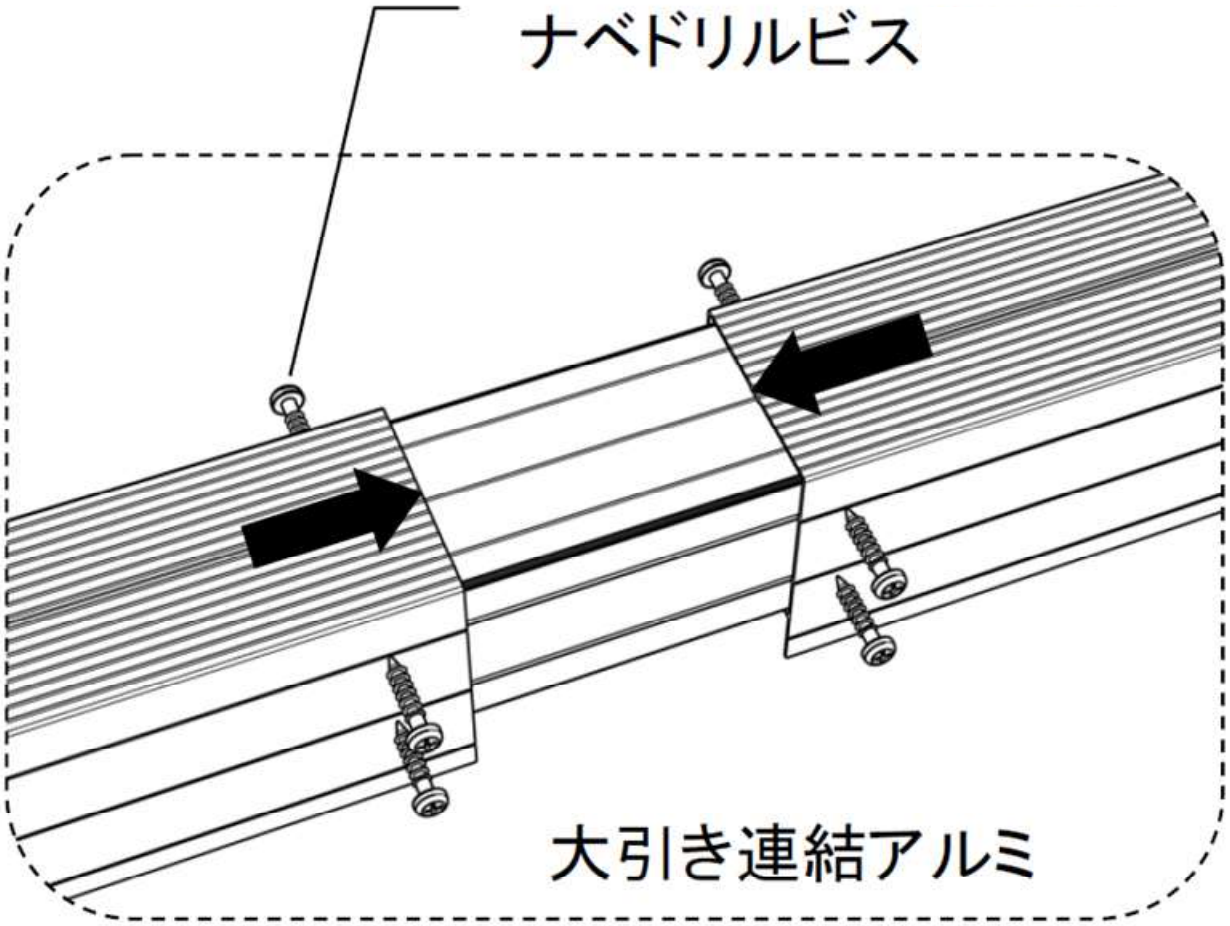
調整束柱と大引きをビス留めします。ビスが打ちにくい場合は大引きと束柱を横に寝かすと、ビスが打ちやすいです。

それぞれの位置を合わせて、付属のナベドリルビス4.2×20で固定してください。束柱位置は大引き端部より200mm以下です。

【 大引きを連結する場合 】

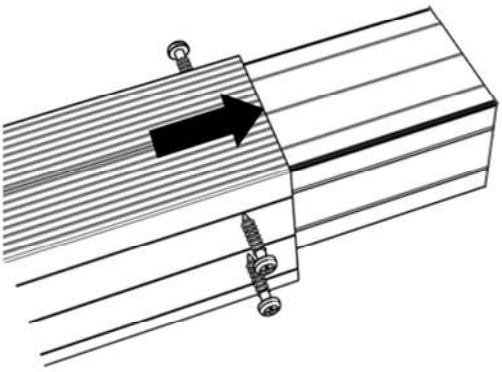
大引きを連結する場合は、「大引き連結金具」を使用します。

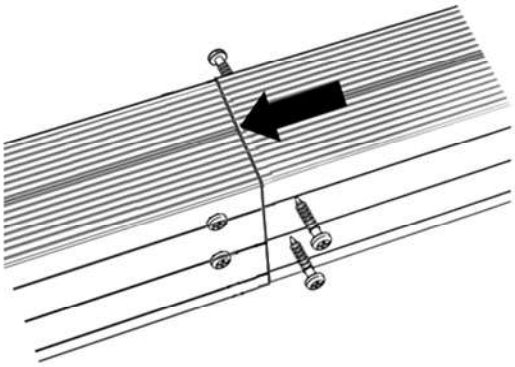
図面のように大引きの間に金具を差し込んで、ビスで両側から固定します。



大引き連結参考図

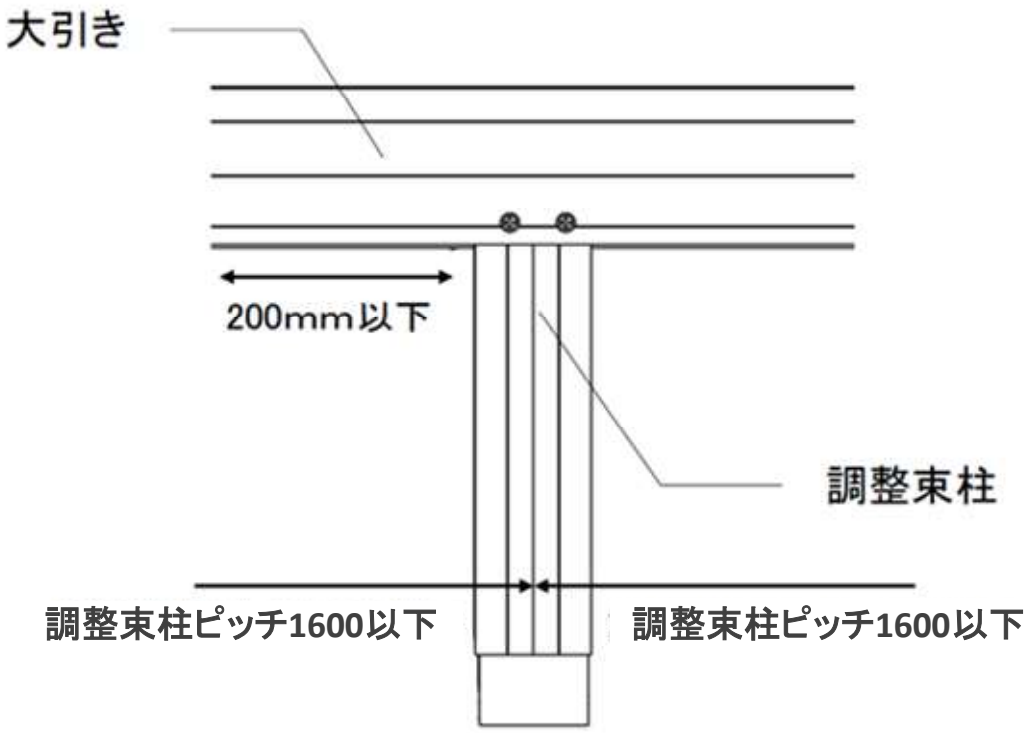
手順1：大引き連結アルミを半分まで差し込み、ビス留めします。
※事前に半分のラインで線を引いておくとスムーズです。





手順2：反対側の大引きを差し込んでビス留めしたら連結完成です。

【 束柱の位置を変更する場合 】

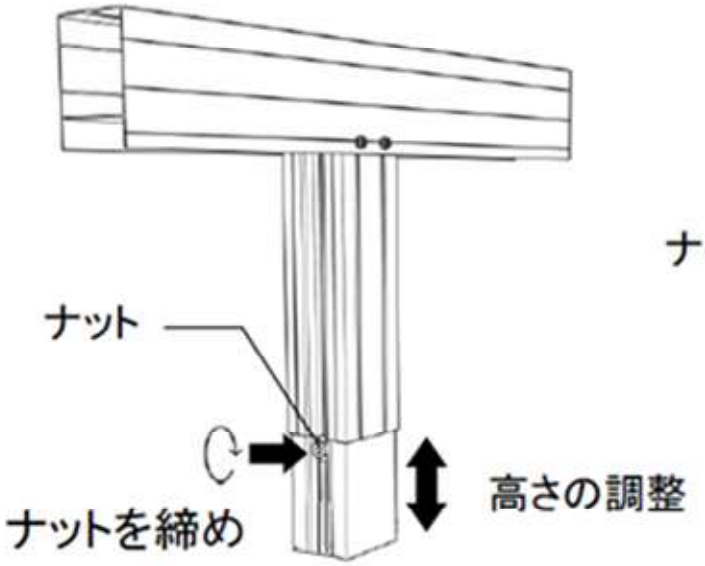


束柱の取り付け位置に障害物などがあって束柱の取り付け位置を変更したい場合は、下記の内容を守って上で、束柱の取り付け位置を検討してください。

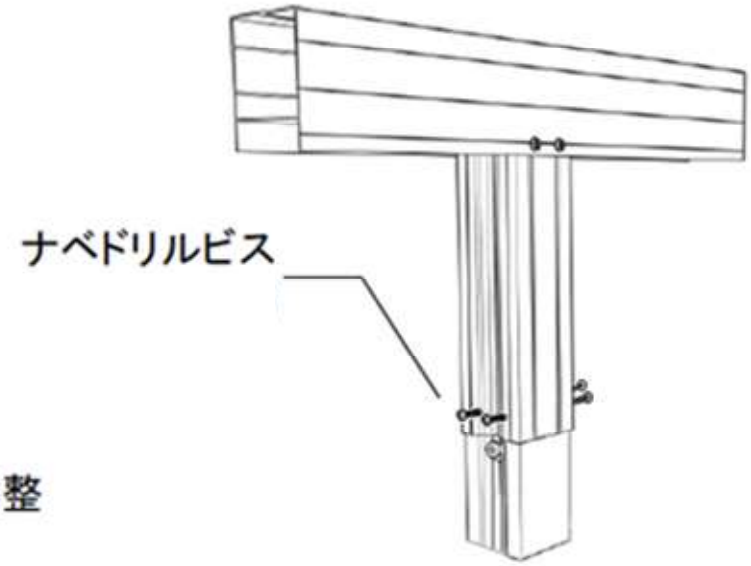
①束柱のピッチは、下記のピッチで変更してください。

・大引き端部より200mm以下
・束柱ピッチ 1600以下

【 調整束柱の高さ調整 】



高さ調整図



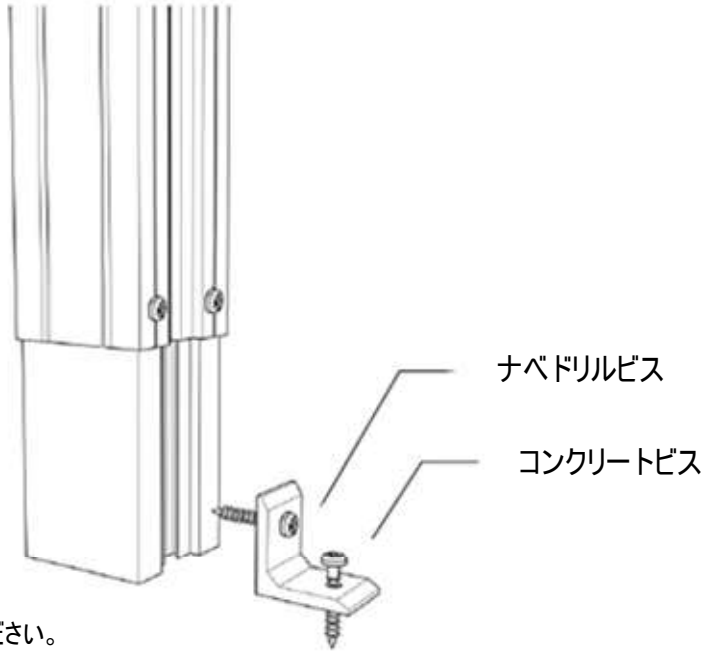
束柱の完全固定

【1】デッキの水平面を決定し、束柱ナットを緩めて高さを調整してください。

※高さ調整は、必ずあらかじめ決められている調整範囲内で行ってください。調整範囲は280mm～380mmまで。
※部材の水平や直角などを確認してください。

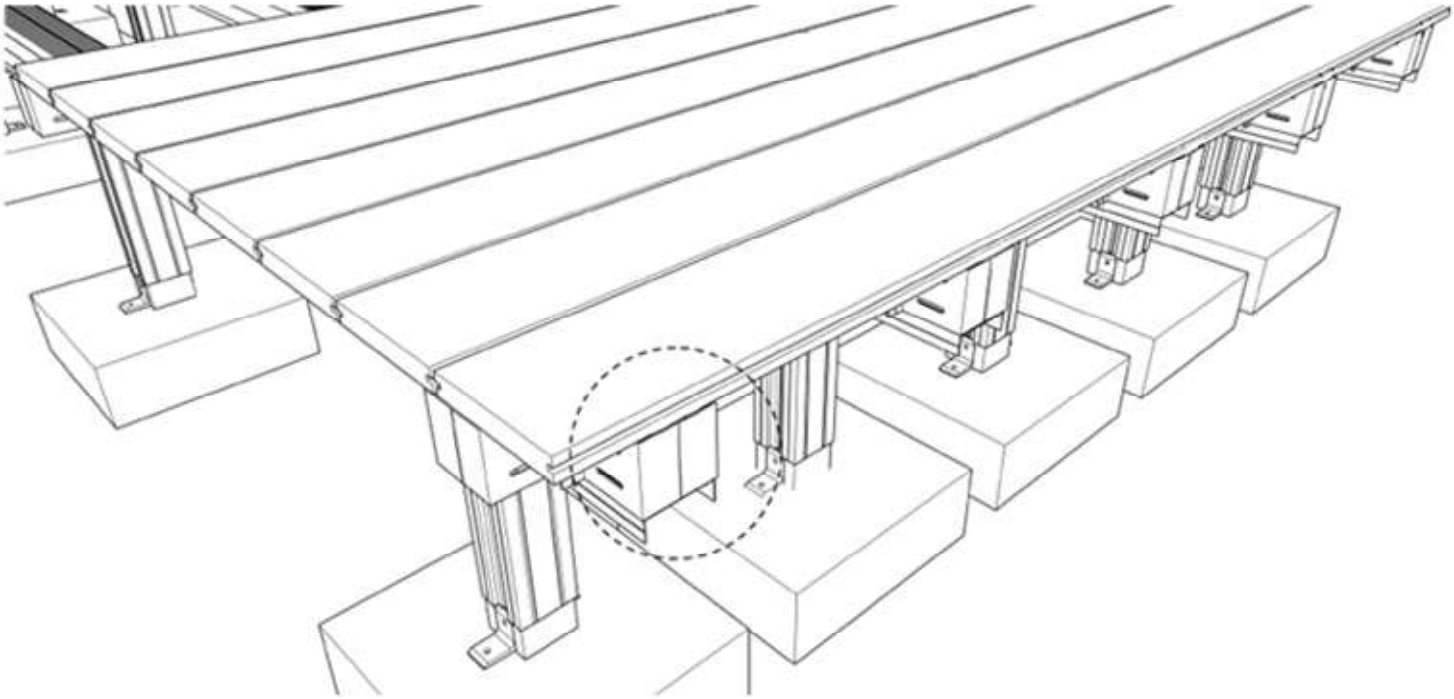
【2】高さ調整後ナットをビス留め、ナベドリルビス4.2×20にて完全に固定してください。（表裏計4箇所）

【 束柱のアンカー固定 】

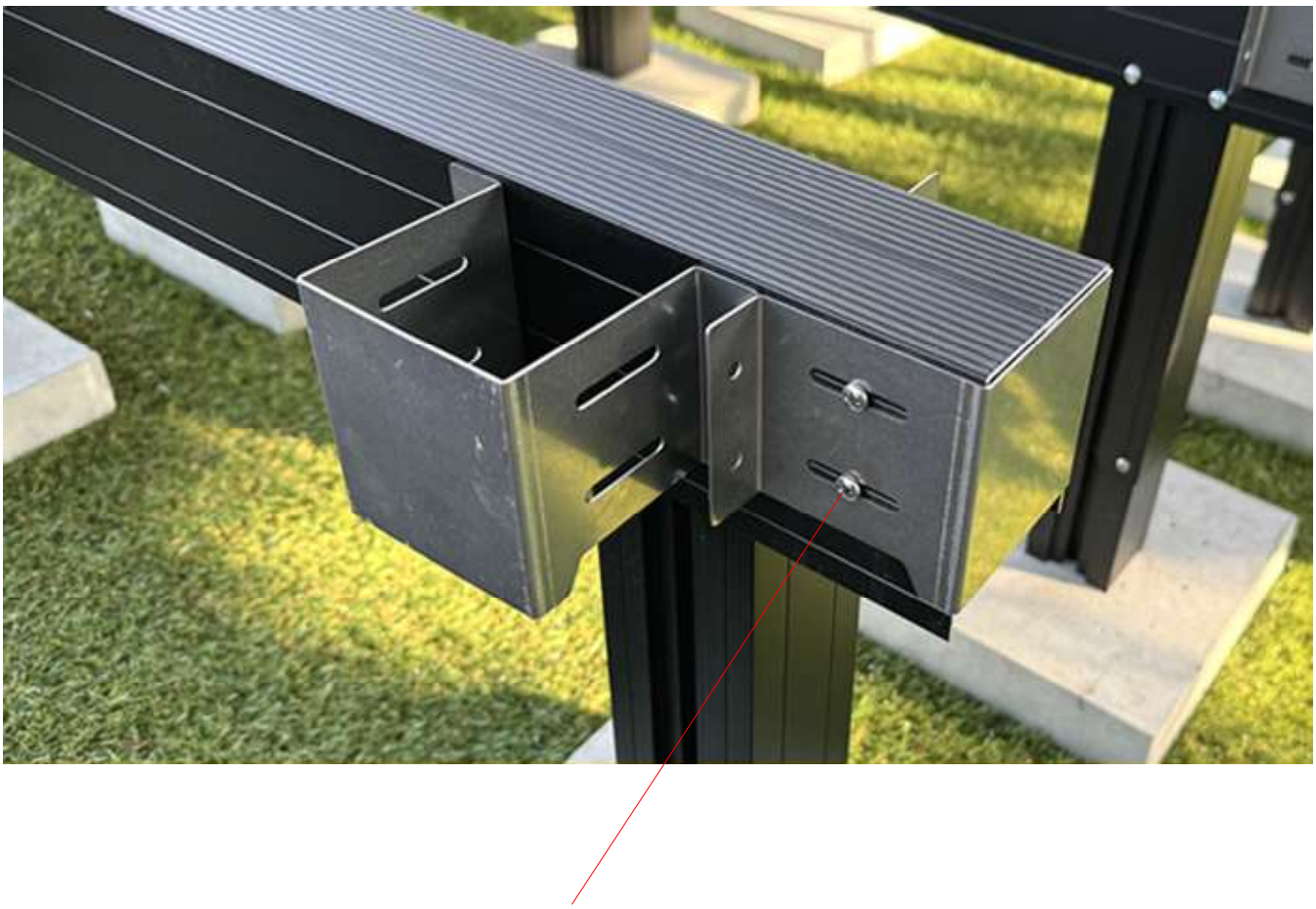


束柱を「束柱固定L金具」を使って基礎に固定してください。

【 床板の貼り始め 】

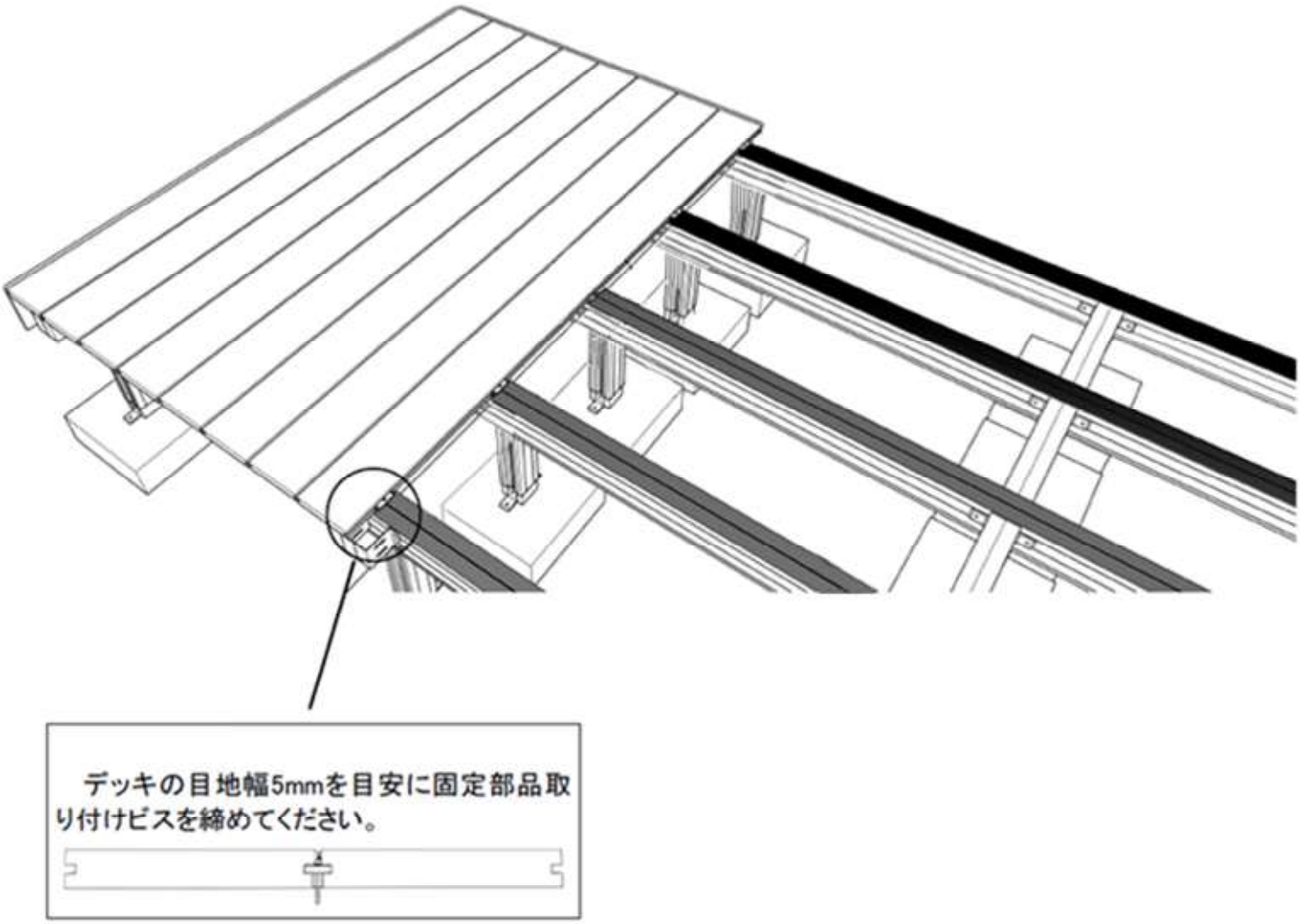


■デッキ貼り始めは、幕板固定金具に位置を揃えて床板を配置していきます。

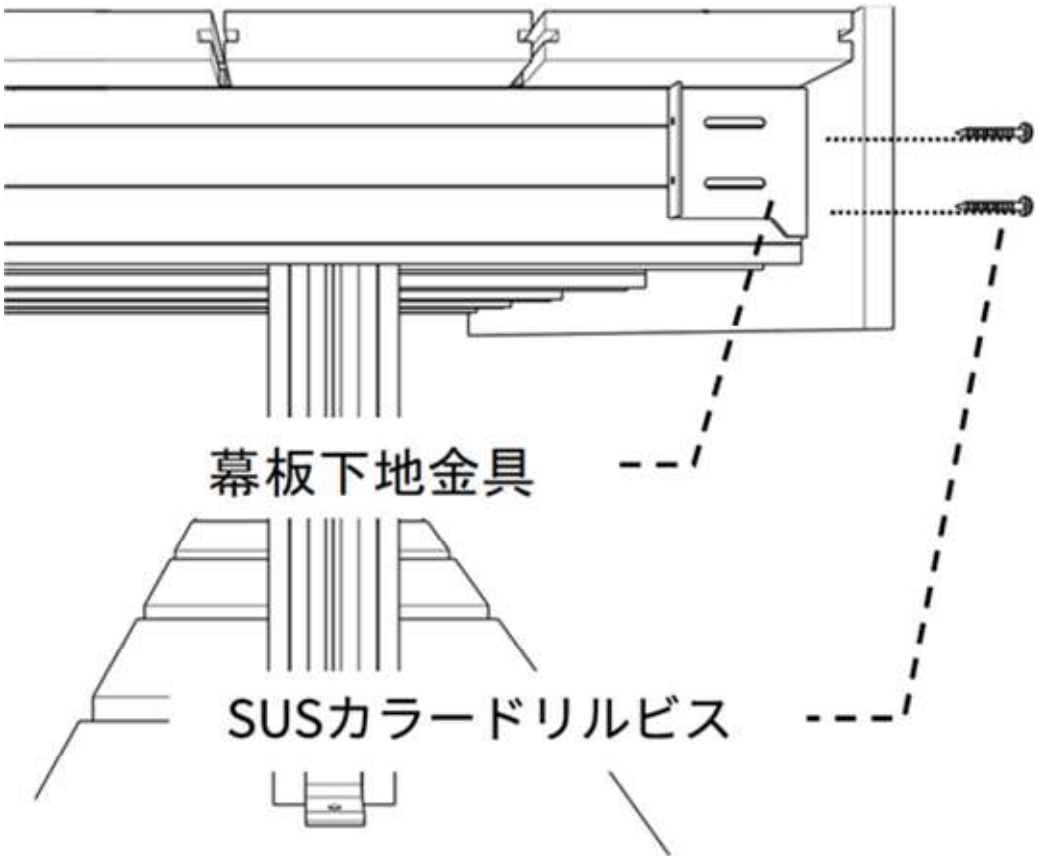


※大引き小口側の「幕板固定金具」は、ビスを緩めて位置を微調整することができます。

【デッキ材の施工】



【 幕板の施工 】



幕板サイズ：145×31mm

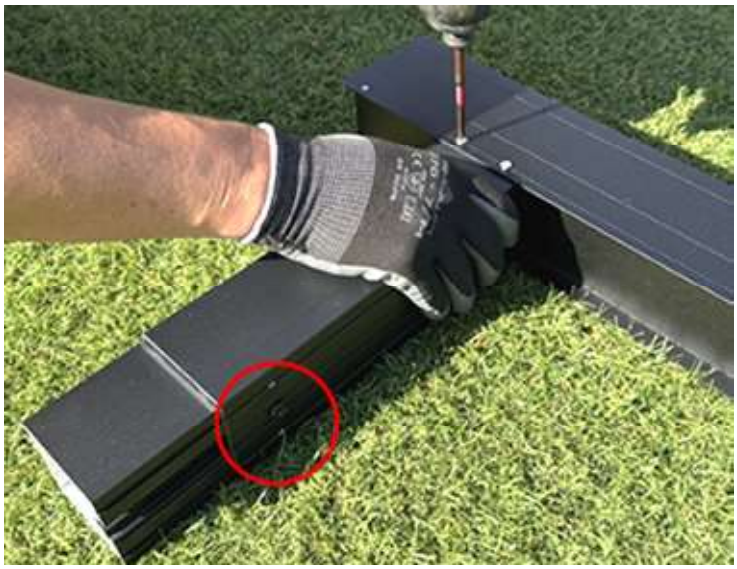
「幕板下地金具」に、人工木幕板を固定します。

・ビスの位置決めは、専用治具を使用してビス留めを行ってください。
・ビスで固定前に必ず幕板に下穴を空け、上下2箇所ずつ固定してください。

【 写真で見る人工木ウッドデッキ設置の流れ 】

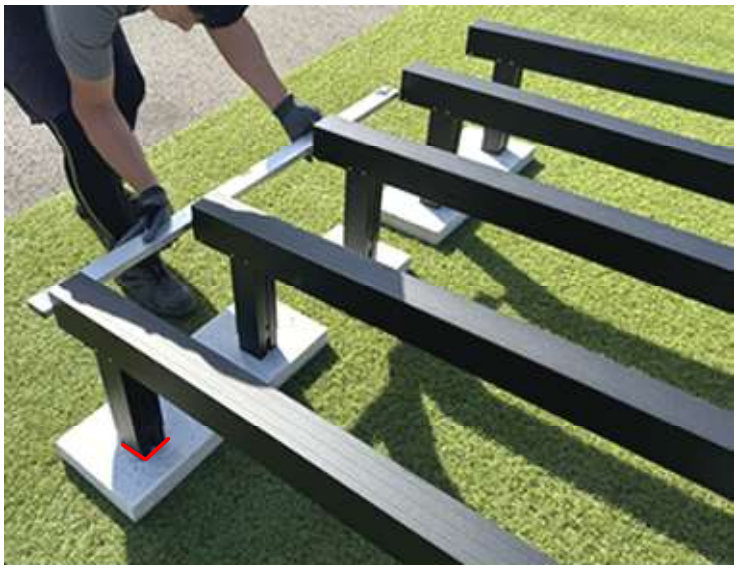
■まずは設置サイズに合わせた個数分の平板を用意します。

■初めに束柱のボルトネジを仮止めしていきます。予定の高さに合わせて束柱の長さを調整し、ネジを固定します。



■大引きと束柱をドリルビスで固定します。赤丸のように仮止めのボルトを横向きにして固定します。 設置した時にボルトが目立たなくなります。

■束柱を固定したら、平板の上に配置していきます。



■全ての大引きを配置したら、縦横の通りや寸法を揃えていきます。
平板の微調整もここで行っています。
※この時点で決めた位置がずれても問題ないように、平板にマジックなどでラインを入れておくと安心です。

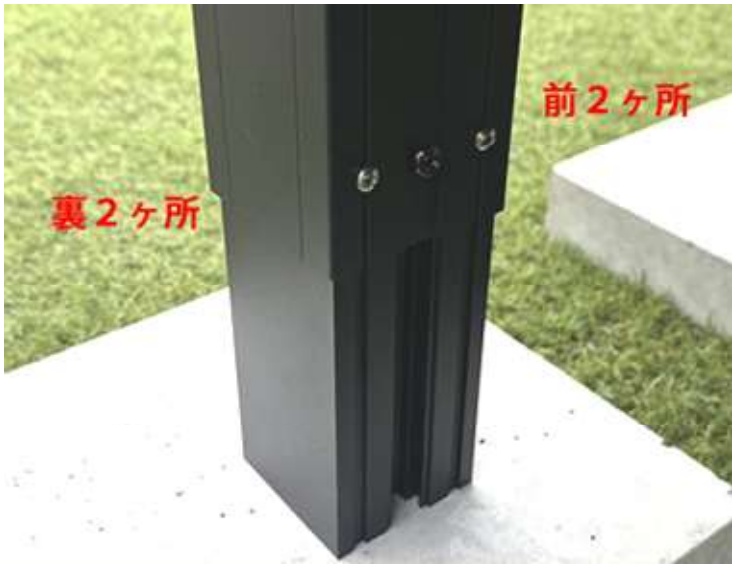
■続いて、大引きに「幕板固定金具」をビス止めしていきます。

【 写真で見る人工木ウッドデッキ設置の流れ 】

■大引きの小口側や正面側にも、幕板金具を固定していきます。

■続いて、全体の高さ調整を行っていきます。まずは仮止めしたボルトを緩めて、束柱を調整できるようにします。

■水平器を見ながら隣との高さがそろった場所で、再度ボルトを仮止めします。



■本締めとして、ドリルビスを前後2カ所（計4カ所）にしっかりと打ち込みます。 ※ボルトやビスのカラーは現在ブラック色に変えています。

■これで下地の完成です。次は付属のL型金具を使用して、束柱と平板にビス止めします。

■平板は先に下穴を開ける必要がありますので、コンクリート用の下穴ドリルをご用意ください。
約3．6～3．8mmの下穴を開けて、コンクリートビスを打ち込みます。

【 写真で見る人工木ウッドデッキ設置の流れ 】

■高さや場所によってL型金具が打ちにくい場合は、写真のように
束柱の側面に固定しても問題ありません。
次は床板を貼っていきます。

■まず1枚目の床板は、「幕板固定金具」の側面を合わせて配置します。
次に2枚目の床板との間に、「固定具」を挟み込んでビス止めして
いきます。

■「床板固定金具」を間に挟み込み、大引きに対して上からドリルビスを
打ち込みます。

■床板がすべて固定されました。次は側面の幕板を設置していきます。

■専用の治具を使用して、内側にある「幕板固定金具」の場所に合わせ
て下穴を開けていきます。

■下穴を開けた場所にビスを打ち込みます。

【 写真で見る人工木ウッドデッキ設置の流れ 】

■上下2箇所づつビスで固定したら幕板の設置が完了です。

■端部はコーナーキャップをはめ込んで、付属のビスで固定します。

製品保管上のご注意

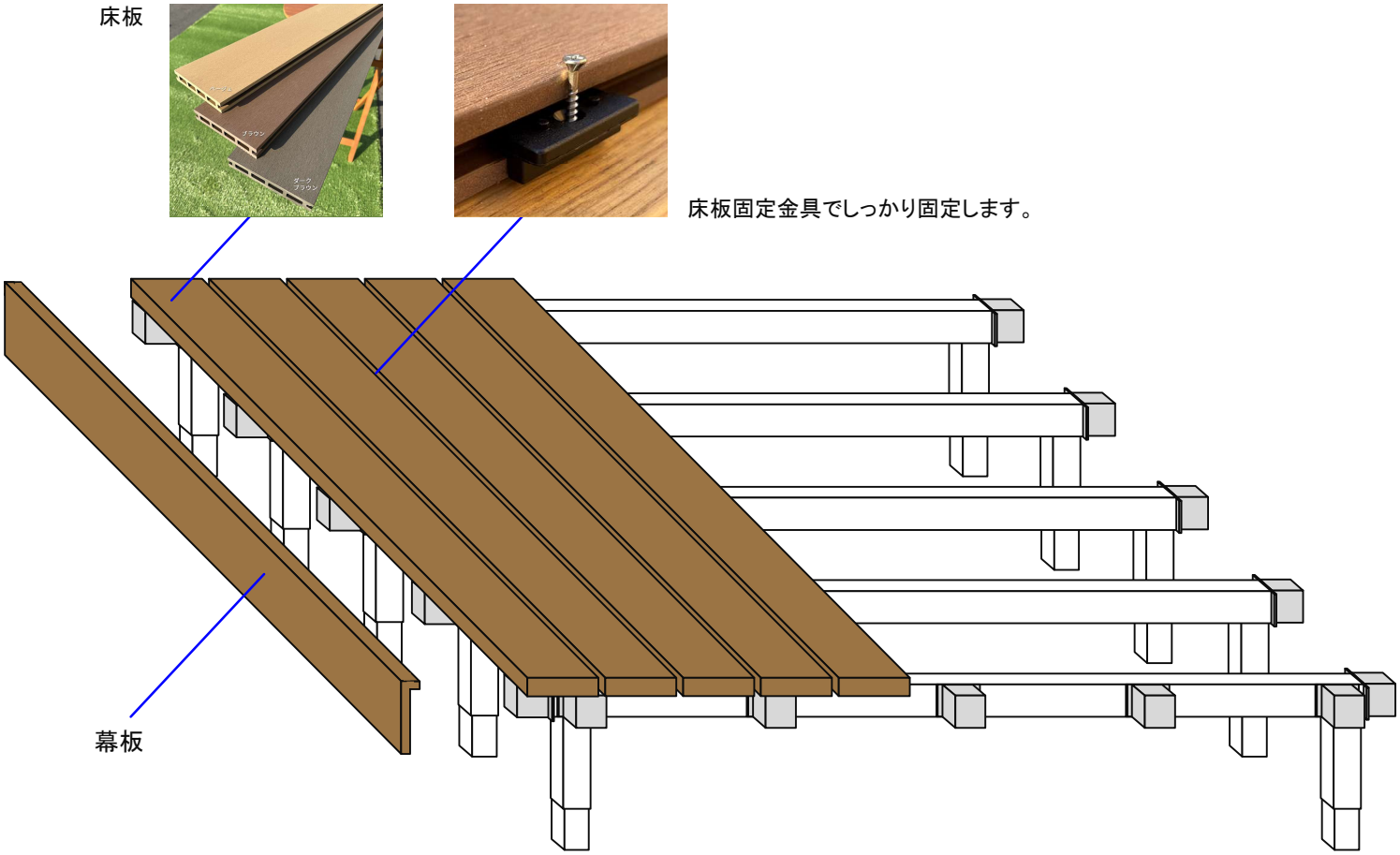
- 本製品を保管される際には、炎天下を避けて平らな場所に保管していただきますようお願いいたします。

- 本製品は雨に濡れても差し支えはございませんが、保管時に段ボール梱包のまま雨に塗れた状態で保管されますと変色やカビの原因となることがございます。製品のお届け後はブルーシートを掛けるなど、梱包のまま雨に濡らすことがないよう保管をお願いいたします。

再生木材の特徴とご注意

- 本製品は原料に天然の木粉を使用しており、製造時期によって色味に若干のバラツキが生じることがございます。とくに施工後に増設される場合などで部材の追加がある場合は、すでに設置されている床板と色差が生じますので、予めご了承ください。

- 本製品は天然木の風合いを出すために表面処理を施して出荷しております。製品自体に削り粉が付いていることがございますが、汚れや傷ではございませんので、ご安心ください。



抜群の耐久性と木質感を兼ねた人工木デッキで、末長いエクステリアライフをお楽しみいただければ幸いです♪

ecowood